

知っておきたい 雲仙市のしごと



‘つながり’で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち



長崎県 雲仙市

はじめに

雲仙市では、市が1年間にどれだけの予算を使って、どのような事業を実施しようとしているのかを市民のみなさんにお伝えするため、令和7年度予算説明書「知っておきたい雲仙市のしごと」を作成しました。

本書では、各会計別の予算の概要をはじめ、雲仙市総合計画の5つの基本方針に基づく今年度の主要事業などの内容について、写真やイラストを多く使用することにより、できるかぎり読みやすく、分かりやすい内容に努めて作成しています。

本書により、市民のみなさんが雲仙市の予算を身近に感じていただき、よりよいまちづくりのための議論の一助として有効にご活用いただければ幸いです。

財務部 財政課

雲仙市総合計画

将来像

“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち

基本方針

- ① 暮らしと安心
- ② 産業と交流
- ③ 社会基盤と環境
- ④ 人財と郷土
- ⑤ 協働と戦略

知っておきたい雲仙市のしごと もくじ

1	令和7年度雲仙市当初予算の概要	4
	一般会計の歳入	6
	一般会計の歳出	8
	市民1人あたりに使われるお金	10
	現在の財政状況と今後の財政運営	12
2	令和7年度主要事業	14
	①暮らしと安心 の事業	15
	②産業と交流 の事業	21
	③社会基盤と環境 の事業	24
	④人財と郷土 の事業	35
	⑤協働と戦略 の事業	38
3	ゼロ予算事業	41
4	資料編	43
	(1) 雲仙市の通知表(県内13市財政状況比較表)	44
	(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	45
	(3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道	46



1 令和7年度雲仙市当初予算の概要

令和7年度の雲仙市当初予算の全会計の合計は、

439億1,243万円 です。

雲仙市の会計は、「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」の3種類の会計があります。

お財布に例えると、使いみちや収入源の違う3種類のお財布があって、決められたルールにしたがってお金の出し入れをしています。



一般会計 基礎的な行政サービスを行うための会計

326億
14万円

一般会計とは、教育・福祉・まちづくりなど、市の基礎的な行政サービスを行う会計です。

市民税や固定資産税など、市民のみなさんが納める市税は、主にこの一般会計の各種事業に使われています。

特別会計 特定の事業を行うための会計

76億
5,875万円

特別会計とは、法律の定めなどにより、特定の事業を行うためのお金の管理を一般会計と区別している会計です。

雲仙市には、5つの特別会計があります。

国民健康保険特別会計・・・69億1,957万円 後期高齢者医療特別会計・・・6億6,005万円

国民宿舎事業特別会計・・・・・・5,041万円 温泉浴場事業特別会計・・・・・・1,863万円

企業誘致用地整備事業特別会計・・・1,009万円

企業会計 事業の収益で運営している会計

36億
5,354万円

企業会計とは、一般会計や特別会計と異なり、事業を行うことによって得られた料金などの収益で運営している会計です。

水道事業会計・・・・・・18億2,391万円

下水道事業会計・・・・・・18億2,963万円

(※両事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。)

雲仙市の特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計

自営業の人、農家の人、会社を退職した人およびそれらの人に扶養されている人などが病院などにかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



後期高齢者医療特別会計

主に75歳以上の人がかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



国民宿舎事業特別会計

国民宿舎「望洋荘」の管理を行うための会計です。



温泉浴場事業特別会計

市営共同浴場「浜の湯」の管理を行うための会計です。



企業誘致用地整備事業特別会計

企業誘致のための用地として、土地の購入や水道などのインフラ整備を行うための会計です。



水道事業会計（企業会計）

安定した飲料水の供給のために、配水管の工事や設備の維持管理を行うための会計です。



下水道事業会計（企業会計）

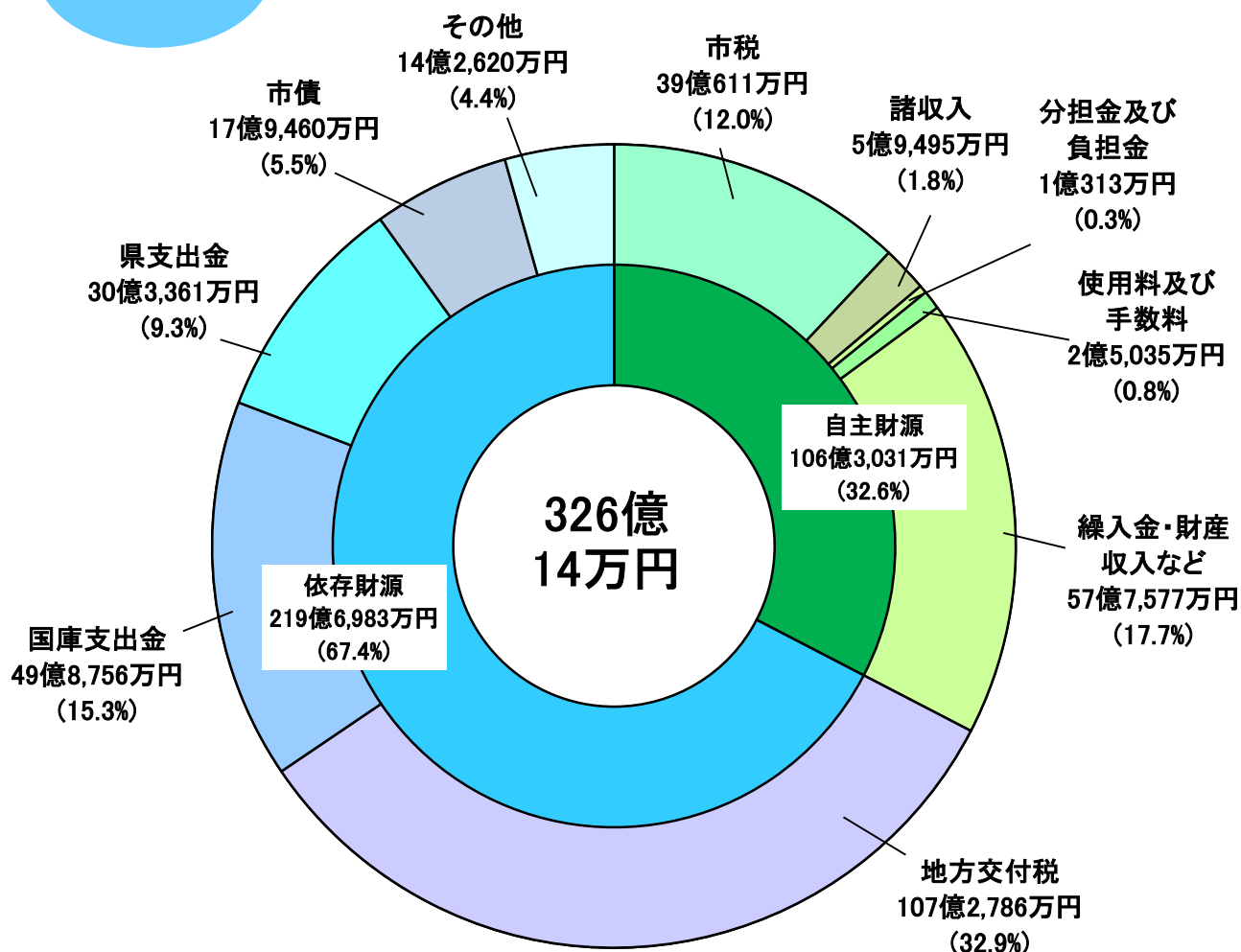
下水道施設の整備や施設の維持管理を行うための会計です。

- ・公共下水道
- ・特定環境保全公共下水道
- ・農業集落排水処理
- ・小規模集合排水処理
- ・特定地域生活排水処理



歳入

一般会計



Q. 予算とは？

A. あらかじめ計算した1年間の収入・支出の予定額のことです。



予算には、1年間のお金の使い方を決める「当初（通常）予算」のほか、当初予算では予測できなかった事などを行うために予算の追加や変更を行う「補正予算」があります。

歳入（収入）・歳出（支出）については、「一会計年度の収入のなかでその会計年度の支出をまかなう」と法律で定められていますので、会計年度のなかで計画的に運営する必要があります。

※一会計年度・・・4月1日から翌年3月31日までの期間

【自主財源】 — 市が独自に収入できるお金 —

- 市税……………個人や会社の所得に応じて支払う市民税や、土地や建物を所有する人が支払う固定資産税など、市民のみなさんが市に支払う税金
- 諸収入……………貸付金元利収入や宝くじ配分金など他の歳入科目に属さないお金
- 分担金及び負担金……市が行う事業などにより、特に利益を受ける人から徴収するお金（老人ホーム入所者や保育所の保護者負担金など）
- 使用料及び手数料……市のホール・体育館や市営住宅などの公共施設の使用料や、住民票の交付手数料など
- 繰入金・財産収入……各種基金（貯金）の取り崩しなどにより繰り入れるお金や、市が所有する財産（土地など）を貸し付けたり、売り払ったりすることなどにより得るお金

【依存財源】 — 国や県からもらうお金や銀行などから借りるお金 —

- 地方交付税……………国民が一定水準の行政サービスを公平に受けられるよう、所得税や酒税などの国税の一部をもとに、市の人口規模などに応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金……………国が認めた特定の事業などに対して国から交付されるお金
- 県支出金……………県が認めた特定の事業などに対して県から交付されるお金
- 市債……………道路整備といった建設事業などを行うために、国や銀行などから借り入れるお金

Q. 予算はどのようにして決まるの？

A. ①～⑦の順序に従って事務が行われ、予算が成立します。



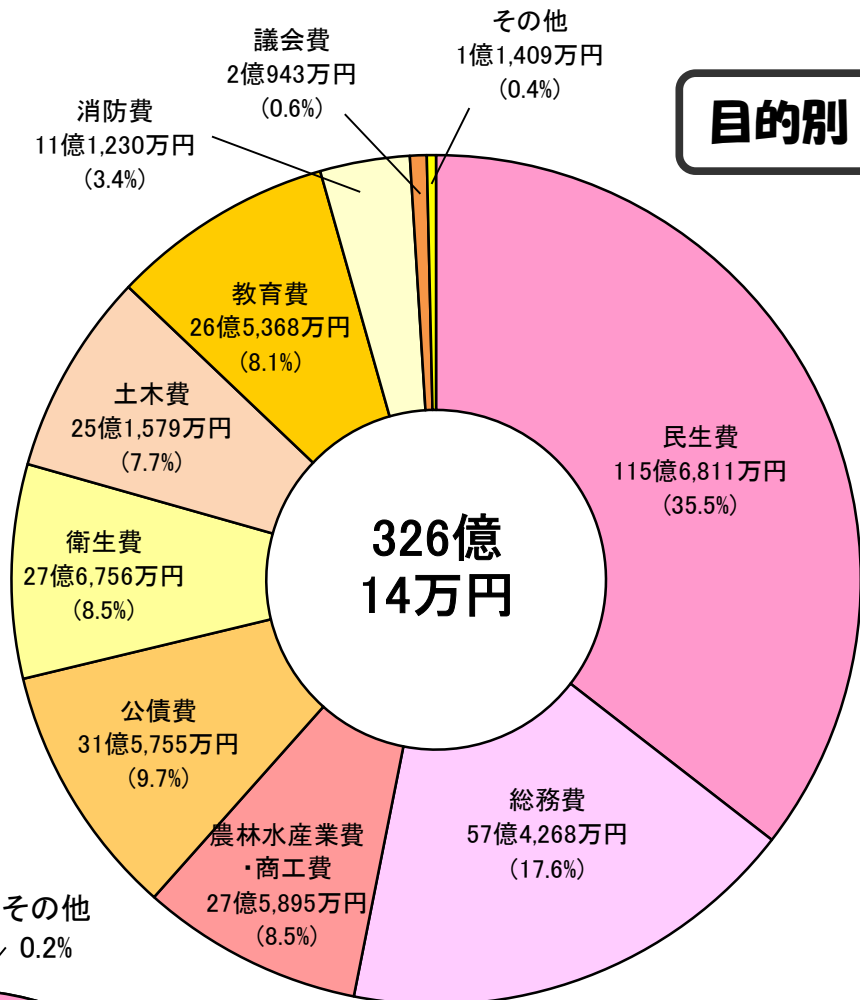
①予算編成方針の作成（10月下旬頃）→②各部局が要求書を提出（11月中旬頃）→③査定（11月下旬～1月）→④予算案の作成（2月上旬頃）→⑤議会への提出（2月下旬頃）→⑥議会の議決（3月下旬頃）→⑦成立

①まず、次の1年間に何をするか、基本的な考え方を財政課が提案します。②次に、①をもとに各部局が新規・継続・廃止の事業を決めて必要な金額を計算します。③④要求された予算について、財政課が各部局の担当者へ聴き取りを行い、財政状況、事業の必要性・効率性などの見地から審査を行います。その後、財務部長・副市長・市長の審査を受け、予算案を作成します。⑤⑥⑦市議会での議論を経て最終的に決定されます。

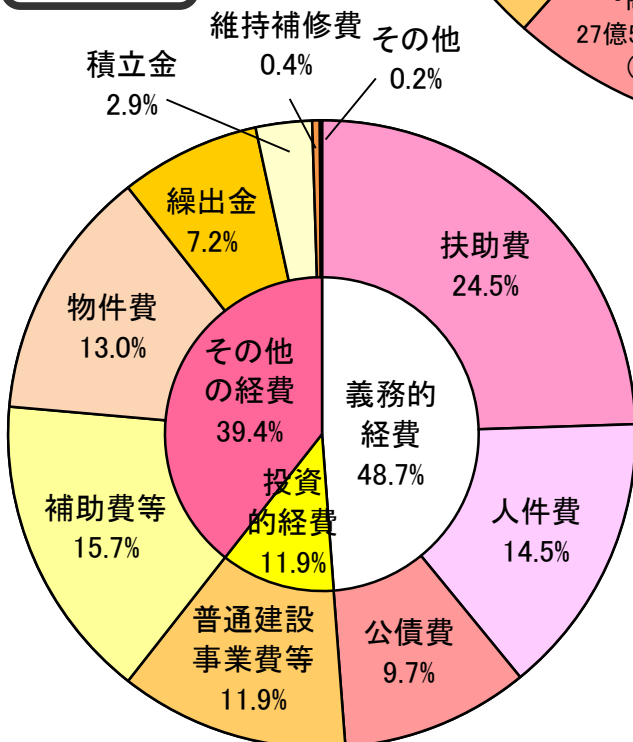
歳出

一般会計

目的別



性質別



-
- 民生費……………福祉サービスのために使われるお金
(高齢者・障がい者の支援、保育施設などへの給付など)
 - 総務費……………基礎的な行政活動や企画調整などのために使われるお金
(自治会活動の支援、移住定住、市有地・建物の管理、選挙経費など)
 - 農林水産業費……農業・林業や水産業の振興のために使われるお金
(農道や用水路、漁港の整備、基盤整備、後継者の育成、稚魚放流への補助など)
 - 商工費……………商業振興や観光などのために使われるお金
(中小企業者への資金貸付、企業誘致、観光イベント開催補助など)
 - 公債費……………過去の建設事業などのために借り入れた市債(借金)返済のために使われるお金
 - 教育費……………学校教育や生涯学習・スポーツ振興などのために使われるお金
(小中学校やホール、スポーツ施設の運営・管理、各種講座・講演会の開催、文化財の保護など)
 - 土木費……………道路・水路や公園の整備などのために使われるお金
(道路の新設・改良、河川改修、市営住宅の管理など)
 - 衛生費……………健康づくりや環境衛生などのために使われるお金
(健康診断、予防接種、ごみ処理などの費用)
 - 消防費……………消防・防災のために使われるお金
(消防署運営費の負担、消防団の活動費用、防火水槽の整備など)
 - 議会費……………議会運営のために使われるお金

Q. 目的別歳出、性質別歳出とは？

A. 行政目的から見た歳出、経済的性質から見た歳出のことです。



【義務的経費】

職員や議員などの人件費、借金の返済、福祉、医療など、毎年支払う必要があるお金

【投資的経費】

学校、道路、庁舎などの整備や災害復旧にかかるお金

【その他の経費】

特定の事業を支援するための補助金など上記以外の市民サービスに必要なお金

市民1人あたりに使われるお金

令和7年3月31日現在、雲仙市の人口は、40,417人です。

一般会計予算について、市民1人あたりに、どれくらいのお金が使われるのか表してみました。

民生費

(福祉サービス)

28万6,220円



農林水産業・商工費

(農業、林業、水産業など)

6万8,260円



公債費

(市債返済)

7万8,120円



衛生費

(健康づくり、環境衛生など)

6万8,480円



市民1人あたり総額

80万6,590円

土木費

(道路、水路、公園整備など)

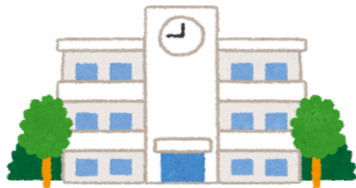
6万2,250円



教育費

(学校教育、スポーツ振興など)

6万5,660円



その他

(行政運営、消防・防災など)

17万7,610円



雲仙市の人口

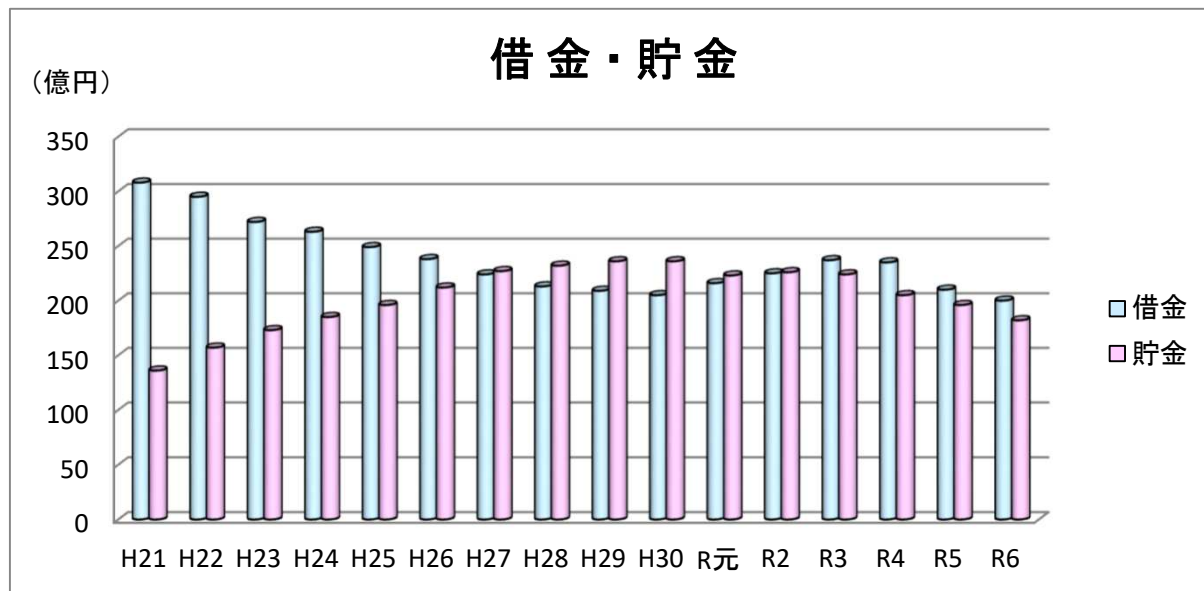
(令和7年3月31日現在)

男性 19,318 人

女性 21,099 人

合計 40,417 人

雲仙市の借金と貯金



※H21～R5決算、R6は決算見込みの金額

市民1人あたりの借金
49万3,888円

市債

市債(地方債)と言われるものですが、自治体が学校・道路・橋などを整備する資金を調達するために、国や銀行から借り入れるお金です。多額の出費がある場合や、将来の世代にも経費を負担させることが公平な場合などに借り入れることができます。

市民1人あたりの貯金
45万1,172円

基金

積立金(基金)と言われるものですが、一般の家庭において、出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えています。

〈雲仙市の予算の特徴〉

本市では、健全な財政運営を目指して、借金の残高を出来る限り増やさないようにしつつ、将来の出費などに備えるために計画的に運営にあたっています。

借金(市債)については、繰り上げ償還(返済期日より早く返すこと)などにより、残高の抑制に努めています。また、合併特例事業債などの市債は、返済額のうち一定額を国から交付してもらえる有利な市債です。市では、そういった市債の割合を多くして、実質的な負担が少なくなるように努めています。

一方、貯金(積立金)については、継続的に運用益を積み立てており、財政規模に対する貯金の割合は、県内他市と比較すると多い方に位置しておりますが、令和元年度に初めて減少しました。このままの状況でいきますと、基金が枯渇する恐れがあることから、基金を取り崩さずに財政運営ができるよう、徐々に歳出予算規模を縮小していくこととしております。



～ バランスのとれた収入と支出を目指して ～

雲仙市の収入の半分以上は、国や県からもらう補助金や地方交付税などになります。その中で、最も大きな収入の「普通交付税」は、合併した際の特例として、15年間（平成18年度から令和2年度まで）は、合併していない自治体より多くもらっていました。

多くもらっていた期間には、特例が終了した後に収入が不足する場合に備えて、収入のうち支出を上回った分のお金を貯金していましたが、令和元年度には収入の不足が発生し、それから毎年、貯金を取り崩して収入不足を補いながらの運営が続いています。

今のまま、貯金を使いながら運営をしていくと、いずれは貯金が無くなってしまいます。

なお、市や県などの地方公共団体では、国のように収入不足を埋めるための借金はできないことになっています。

収入不足は、貯金で補うしかありませんので、市として運営していくためには、貯金が無くなってしまう前に、収入を増やすか、支出を抑えていくしかありません。

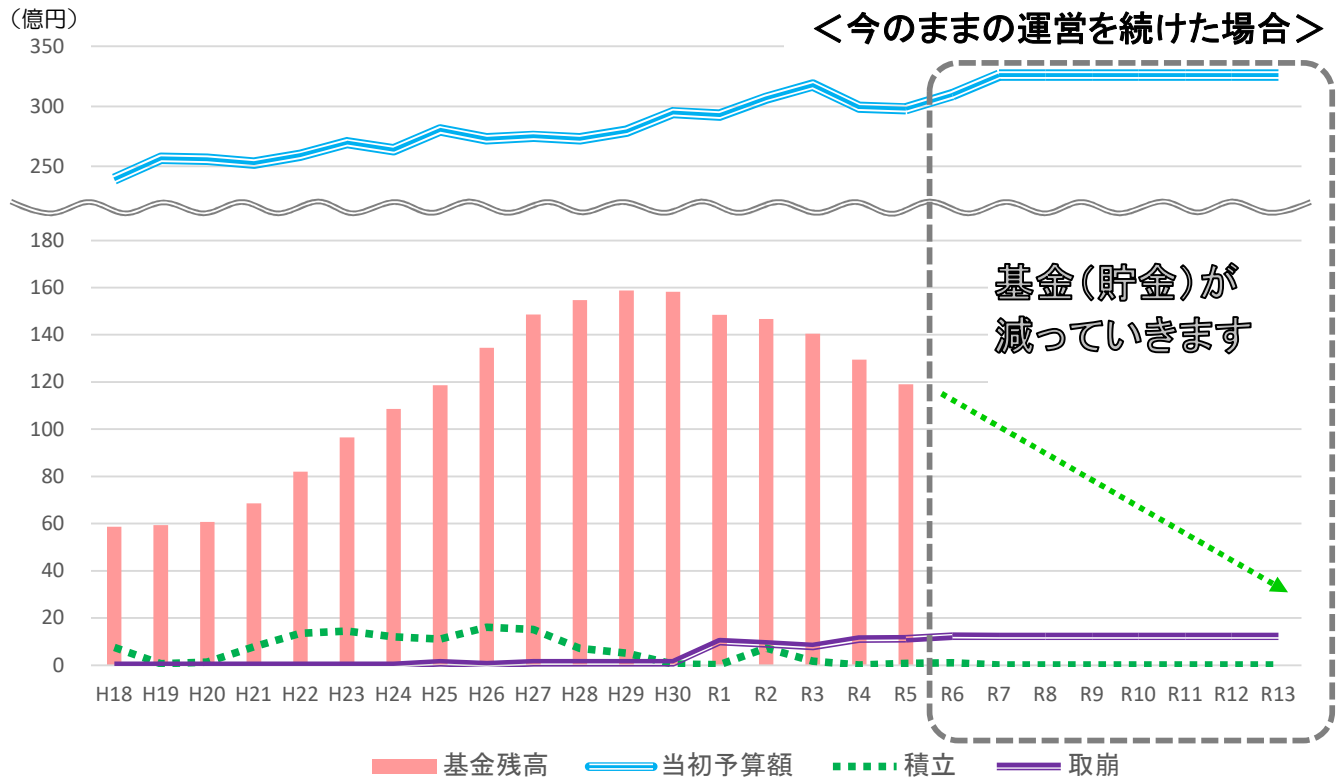
貯金が無くなってしまう直前や無くなってしまってから、市民の皆さんへのサービスを急激に低下させてしまうことは、避けなければいけません。そうならないためには、今のうちから、収入に見合った支出にしていくために、収入を増やしたり、支出を抑えたりする必要があります。

また、雲仙市は、7つの町が合併してできた市ということもあり、他の同じような規模の市と比べると、道路や公共施設が多く、それらの維持管理や改修などの費用が、今後、多くかかり、他のサービスに要する経費を圧迫することが見込まれます。

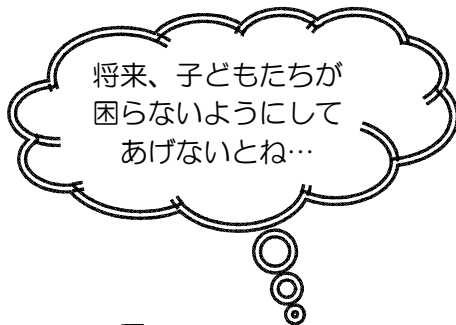
このようなことから、雲仙市の将来を見据え、公共施設を統合・削減していくことなどを進めるとともに、事業の見直し（統合、段階的削減、廃止）などを計画的に行っていく必要があります。

※雲仙市がもらった普通交付税の額は、平成25年度に約127億円だったものが、令和6年度には、約111億円になっています。

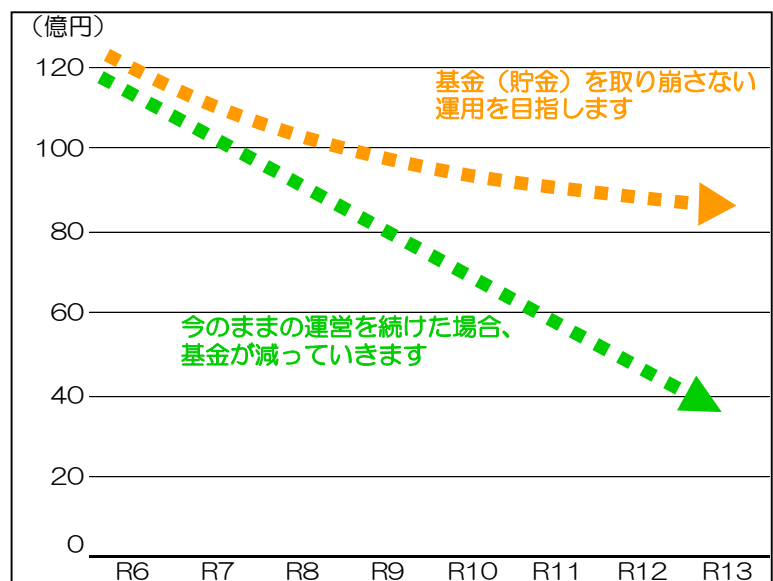
当初予算額と基金（貯金）の推移



※ここでいう「基金（貯金）」とは、主に収入不足を補うための財政調整基金、減債基金のことです。



＜今後の運営＞



2 令和7年度主要事業

●雲仙市総合計画の5つの基本方針

本市では、「〃つながり〃で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち」を将来像として、その実現化のために以下の5つの基本方針を設定し、それに沿って様々な事業に取り組んでいます。令和7年度に実施する主な事業について、各方針別にご紹介します。

- ①暮らしと安心 …… 安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり
- ②産業と交流 …… 雇用を生み出す産業づくりと人を呼び込む観光地域づくり
- ③社会基盤と環境 …… 社会基盤の整備と自然環境と調和したまちづくり
- ④人財と郷土 …… 将来を担う人財づくりと歴史と文化が輝く郷土づくり
- ⑤協働と戦略 …… 市民一人ひとりが主役の協働のまちづくりと効率的で戦略性をもった行財政運営



①暮らしと安心

定住促進対策事業

1億226万円

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

本市に住んでいる人や、これから住みたい人のための支援を行います。
これにより、人口減少対策や地域コミュニティの維持・活性化を図ります。

●事業内容

○定住促進奨励補助金【拡充：55歳以下の年齢要件を廃止します。】

(新築住宅)

固定資産税額の1/2相当額(上限10万円)

+子ども1人あたり1万円

(中古住宅)

10万円+子ども1人あたり1万円

○若者Uターン家賃補助金

市外から転入した18歳～35歳の人が本市にある住宅を借りたとき、
家賃の1/2(最長2年間)を支援します。

上限額(月)：単身1万5千円、複数世帯2万5千円

○定住促進奨学資金償還補助金

本市に住んでいる人が返済している奨学金の1/2(最長10年間)を
支援します。

上限額(年)：高等学校3万6千円、専門学校等4万5千円、大学等6万円

○地域産業雇用創出チャレンジ支援事業移住支援金

東京23区に在住または勤務する人が本市に移住して、就業や創業、関係
人口等の要件を満たした場合に支援金を交付します。

単身：60万円 複数世帯：100万円+子ども1人あたり100万円

○移住促進空き家リフォーム補助金 ※()内は空き家バンク登録物件の場合

【拡充：空き家バンク登録物件以外の物件も対象とします。】

市外から転入する人が空き家を買ったり借りたりした場合、

リフォーム費用の1/2 上限30(50)万円を支援します。

※空家等管理活用支援法人の場合2/3 上限80(100)万円

○空き家等情報登録制度(空き家バンク制度)

空き家情報を市のホームページに登録し、空き家を貸したい(売りたい)

人と空き家を借りたい(買いたい)人をマッチングします。

○空き家バンク登録奨励金

空き家バンクに登録し契約が成立した場合、空き家の所有者や空家等管理
活用支援法人に対し5万円の奨励金を交付します。

○空き家活用促進奨励補助金

空き家バンク制度を利用するときに、空き家の状態の調査費用(7千円)

や、家財道具の片付け費用(上限10万円)、仲介手数料(上限10万円)
を支援します。

○高校生寮費等支援補助金

市内の高等学校に入学する生徒を確保し、学校の存続による地域活性化
等を図るため、市内の高等学校に通学する高校生の寮費等を支援します。

○子育て世帯向け空き家活用事業補助金

空家等管理活用支援法人が空き家の改修や管理を行う際に、費用の4/5を
支援します。

○移住者紹介特典事業【新規】

雲仙暮らしの魅力を紹介した雲仙市民及び紹介をきっかけに県外より本市に
転入された移住希望者に対し、市の特産品を贈呈します。

①暮らしと安心

結婚応援事業

1億184万円

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

人口減少対策として、出会いから結婚、出産まで切れ目ない支援を行い、定住人口の増加と、出生数の改善に向けて婚姻数の増加を図ります。

●事業内容

＜出会いに関する支援＞

- お見合いシステム登録促進補助金
長崎県婚活サポートセンターが運営する会員制データマッチングシステム、「お見合いシステム」の登録料上限1万円を全額支援します。
- 婚活支援事業補助金
婚活イベントの開催経費の2/3を支援します（上限10万円）。
- 婚活イベント事業
島原半島三市で婚活イベントを開催します。



＜恋愛に関する支援＞

- カップル応援事業
出会いから結婚までサポートする人を「雲仙市世話やき隊」として登録し、独身男女が結婚に至るまでサポートします。活動が結婚に結びついたら、世話やき隊に対して1組につき10万円を交付します。

＜結婚に関する支援＞

- 結婚・定住支援金（結婚支援金）
婚姻時の年齢が、ご夫婦ともに42歳未満又はご夫婦の両方もしくはいずれかが42歳以上のご夫婦で対象期間中にお子様の出生があった場合に20万円の支援金を2年間（40万円）交付します。
- 結婚新生活支援事業
結婚に伴う新居費用や引っ越し費用などを支援し、新婚生活スタート時の経済的な負担を軽減します。
上限額：29歳以下の人 60万円、30歳以上39歳以下の人 30万円

＜出産に関する支援＞

- 結婚・定住支援金（赤ちゃん支援金）
お子様の出生があった場合に20万円の支援金を交付します。



①暮らしと安心

関係人口創出事業

2,227万円

(担当：総務部 政策企画課)

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、本市と多様に関わる「関係人口」を創出することにより、新たな交流を生み出し、地域の活性化及び本市への移住・定住の促進を図ります。

●事業内容

○2025大阪・関西万博において、本市の在来種野菜の魅力を、国内だけではなく世界へ発信するとともに、オーガニック先進国であるデンマーク王国と交流を行うことで、さらなる関係人口の創出を図ります。

○全国的に関心が高まっている在来種野菜の担い手農家育成のため地域おこし協力隊員を任用します。

○一定期間、地域おこし協力隊員として本市の活動や生活を試行的に体験できる「地域おこし協力隊インターン生」を募集します。



①暮らしと安心

子どもの遊び場整備事業

3億8,567万円

(担当：総務部 政策企画課)

子育て環境を充実させ、本市への移住・定住を促進するため、既存施設（旧雲仙市瑞穂ヘルシー会館）を活用した全天候型の子どもの遊び場の整備を図ります。

●事業内容

○子どもの遊び場整備工事

旧雲仙市瑞穂ヘルシー会館を改修し、全天候型子どもの遊び場を整備します。

※建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事

○備品購入

遊具や施設に必要な備品を購入します。

○施設名称公募に係る経費

機運醸成のため施設名称を公募します。



①暮らしと安心

高校魅力向上事業【新規】

732万円

(担当：総務部 政策企画課)

市内の高校が行う魅力向上に係る取り組みを支援し、同校への進学率の増加を図り、ひいては地域の活性化に結び付けます。

●事業内容

市内県立高校が取り組む、高校の魅力向上のための事業に支援を行います。

地域おこし協力隊を採用し、市内県立高校の魅力発信に取り組みます。



①暮らしと安心

全国障害者芸術・文化祭開催事業【新規】

223万円

(担当：健康福祉部 福祉総務課)

「ながさきピース文化祭2025（第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭）」にて、障がいに対する理解・認識を深めることなどを目的に実施される事業に対し、事業実施に必要な補助などを行います。

●事業内容

次の事業を行う「ながさきピース文化祭2025雲仙市実行委員会」に対し、補助金を交付します。

《①ふくしアートパネル展》

「障がい者が作成されたアート作品の写真パネル」と「作成過程の写真パネル」を展示。

《②ふれあい和太鼓ワークショップ》

プロの障がい者打楽団による市内の小中学生を対象としたワークショップ等を実施。

 **ながさきピース
文化祭2025**

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

令和7年9月14日(日)→11月30日(日)

①暮らしと安心

妊婦のための支援事業

2,696万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

妊娠届出時から妊産婦に寄り添い、面談等により必要な支援につなげる「妊婦等包括相談支援」と併せて経済的支援を行うことにより、全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行います。

●事業内容

妊娠届出時、妊娠中及び出産後に妊産婦に寄り添う「妊婦等包括相談支援」により伴走型の相談支援を行い、妊娠時に1回目を、出生届等後に2回目の「妊婦のための支援給付金」を支給し、経済的支援を行います。

【1回目：妊娠届後】

①妊娠届を出した方： 50,000円

【2回目：出生届等後】

②出生届を出した方：
胎児1人につき 50,000円

または

③流産、死産等の場合：
妊娠した児1人につき 50,000円【新規】



①暮らしと安心

がん対策事業

44万円

(担当：健康福祉部 健康づくり課)

骨髄等の提供に伴う通院及び入院等に対して助成金を交付する骨髄等移植ドナー助成に加え、がんの治療に伴う外見（アピアランス）の変化を補い、がん治療と社会生活の両立を支援するため、ウィッグ等の購入費を一部助成します。

●事業内容

①骨髄等移植ドナー助成

骨髄等の提供に伴う通院及び入院等に要した日数に2万円を乗じた額を助成（上限7日）

②アピアランスケア助成【新規】

がんと診断され、がん治療中または治療した者に対し、アピアランスケア用品購入額の1/2を助成（上限2万円）

〔助成対象〕

- ・ウィッグ等（医療用ウィッグ、装着用ネット、毛付き帽子）
- ・乳房補正具等（補正下着、パッド、入浴着、人工乳房、人工乳頭）

①暮らしと安心

予防接種事業（健康づくり課）

1億6,054万円

（担当：健康福祉部 健康づくり課）

罹患すると重症化しやすい高齢者の方に対し、発病防止、症状の軽減を目的として、インフルエンザワクチン、新型コロナワクチン、肺炎球菌ワクチン、带状疱疹ワクチンの接種を行います。

●事業内容

①高齢者インフルエンザ予防接種

②新型コロナ予防接種

〔対象者〕・65歳以上

・60歳から65歳未満の慢性高度心・肺・腎機能・免疫不全者

③高齢者肺炎球菌予防接種

〔対象者〕・65歳

・60歳から65歳未満の慢性高度心・肺・腎機能・免疫不全者であって、過去に肺炎球菌ワクチンを接種したことがない人

④带状疱疹予防接種【新規】

〔対象者〕・65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳

・100歳以上（令和7年度のみ） ※対象年齢は5年間の経過措置あり

・60歳から65歳未満のヒト免疫不全ウイルスによる免疫不全の機能の障害を有する人



②産業と交流

外国人雇用対策事業

2,617万円

(担当：観光商工部 商工労政課)

市内事業者の外国人雇用促進と受入環境整備を推進するため、外国人を雇用する市内事業者へ支援金を支給するとともに、市内事業所による外国人の就労・生活環境整備や地域との交流イベント実施を支援します。

●事業内容

対象者：外国人を雇用する市内事業者（商工業者、農林漁業者、社会福祉法人等）

内 容：

1 外国人雇用支援金【拡充】

- ・市内事業者が外国人を雇用する際に負担する保険料、渡航費用、賃料、監理団体への監理費等の負担を軽減するため、外国人雇用1人当たり月2,500円（12カ月で3万円）の支援金を支給。

2 外国人就労環境等整備補助金【新規】

- ①市内事業者が外国人の就労環境や居住環境を整備する際の費用の一部を補助。
- ②外国人が地域イベントへの参加や地域との交流活動を行う際の費用の一部を補助。

・補助率：2分の1

・補助上限額：1事業者当たり200千円

※但し、②の補助額は①補助額の2分1以内

②産業と交流

新卒者等就職支援事業【新規】

1,440万円

(担当：観光商工部 商工労政課)

人口減少、少子高齢化等による市内事業者の労働者不足が喫緊の課題であるため、市内事業所に就職した新卒者やU・Iターン者等に就職支援金を支給し、市内事業所への若者の就職、本市への定住を促進します。

●事業内容

対象者：

- ①市内事業所に新たに就職した高校、専門学校、大学等の令和6年度の卒業者で、市内に居住する者
- ②令和7年4月1日以降に本市へ転入し、市内事業所に就職した18歳から35歳までの中途採用者
- ③18歳から35歳までの市内在住者（令和7年4月1日現在）で市外事業所から市内事業所に転職した者

要 件：上記、①②③のうち、一定期間、市内事業所での勤務を継続し、引き続き本市への定住を希望する雇用保険加入者

内 容：就職支援金として3年間にわたり合計360千円支給（各年度120千円）

②産業と交流

光り輝く雲仙力アップ事業（農業・畜産）

9,713万円

（担当：農林水産部 農林課）

雲仙市は県内有数の農業地帯であり、多種多様な農作物が栽培されております。国内外の他産地との競合に負けない足腰の強い農業を実現するため、市独自の支援策により、儲かる農業の実現と力強い産地づくりに取り組みます。

●事業内容

- スマート農業推進事業
- 担い手育成支援事業
- 経営コスト削減推進事業
- 農地利活用推進事業



②産業と交流

商工業活性化推進事業

4,000万円

(担当：観光商工部 商工労政課)

本市の商工業の活性化のため、市内において創業、新規出店、事業の持続化、商店街等のにぎわい創出、事業承継、雇用対策、職場環境の整備、生産性向上などに取り組む商工事業者等への支援を行います。

●事業内容

○対象者：市内商工業者等

○事業メニュー

- ①創業支援事業
 - ・補助率：2分の1
 - ・上限額：500千円
- ②新規出店事業
 - ・補助率：2分の1
 - ・上限額：1,000千円（移住者等の場合、2,000千円）
- ③持続化支援事業
 - ・補助率：2分の1
 - ・上限額：150千円
- ④にぎわい創出事業
 - ・補助率：5分の4
 - ・上限額：300千円
- ⑤事業承継支援事業
 - ・補助率：2分の1
 - ・上限額：500千円
- ⑥雇用対策事業
 - ・補助率：2分の1
 - ・上限額：300千円
- ⑦魅力ある職場づくり支援事業
 - ・補助率：2分の1（補助対象が資格取得の場合、補助率3分の2）
 - ・上限額：300千円
- ⑧生産性向上等支援事業【新規】
 - ・内 容：市内事業者が生産性向上や省力化、業務効率化のため、新たに機械設備、システム導入等の投資を行う場合、その費用の一部を支援する。
 - ・補助率：2分の1
 - ・上限額：1,000千円（下限額：500千円）

③社会基盤と環境

地球温暖化対策事業

2,587万円

(担当：環境水道部 環境政策課)

脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとするために、地球温暖化対策の推進に取り組みます。

●事業内容

- ①太陽光発電設備及び蓄電池購入補助金
個人及び事業者が行う太陽光発電設備・蓄電池に係る整備費用の一部を補助することにより、太陽光発電設備の更なる普及と再生可能エネルギーの利用推進を図ります。
- ②公共施設への太陽光発電設備の設置等
市役所の事務事業で排出される温室効果ガス排出削減に向けた取り組みを進めます。
- ③その他脱炭素社会の実現に向けた施策



③社会基盤と環境

サイクルルート環境整備事業【新規】

590万円

(担当：建設部 監理課)

自転車利用者にとって、安全安心な道づくり、自転車を活用した地域の活性化並びに健康増進を図るため、国、県、諫早市及び半島3市が共同で島原半島を一周するサイクルルートの整備を行います。

●事業内容

サイクルルートにあたる市道に路面標示を整備します。

路面標示区間 L=5,890m

矢羽根、ブルーライン・ロゴマーク 一式



③社会基盤と環境

立地適正化計画策定事業【新規】

1,582万円

(担当：建設部 監理課)

人口減少や少子高齢化といった課題を背景に、高齢者や子育て世代にとって安心できる快適な生活環境の促進が必要となっており、立地の適正化を図ること、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進するための計画を作成します。

●事業内容

都市再生特別措置法第81条第1項に規定する住宅及び都市機能増進施設（医療施設、福祉施設、商業施設等）の立地の適正化を図るための計画（立地適正化計画）を策定します。

併せて、都市計画法第18条の2に基づき策定した、本市の都市計画に関する基本的な方針である「雲仙市都市計画マスタープラン」の改定を行います。

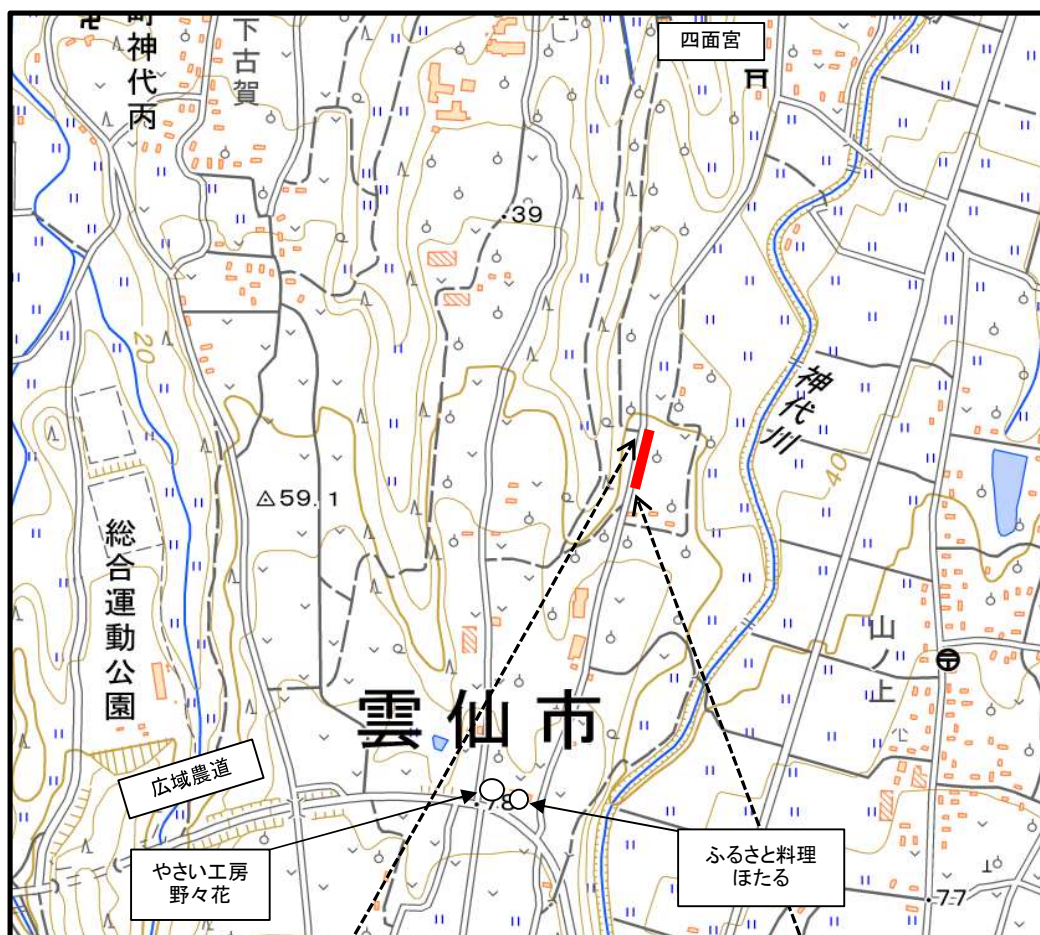
対象：市全域を対象

③社会基盤と環境

市道国見 上古賀1号本線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 85m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側



③社会基盤と環境

市道瑞穂 大川栗林 1 号線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 測量を委託して、必要な図面などを作成



(出典: 国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側



③社会基盤と環境

市道吾妻 河内線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 20m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側



③社会基盤と環境

市道愛野 田端線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 45m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側

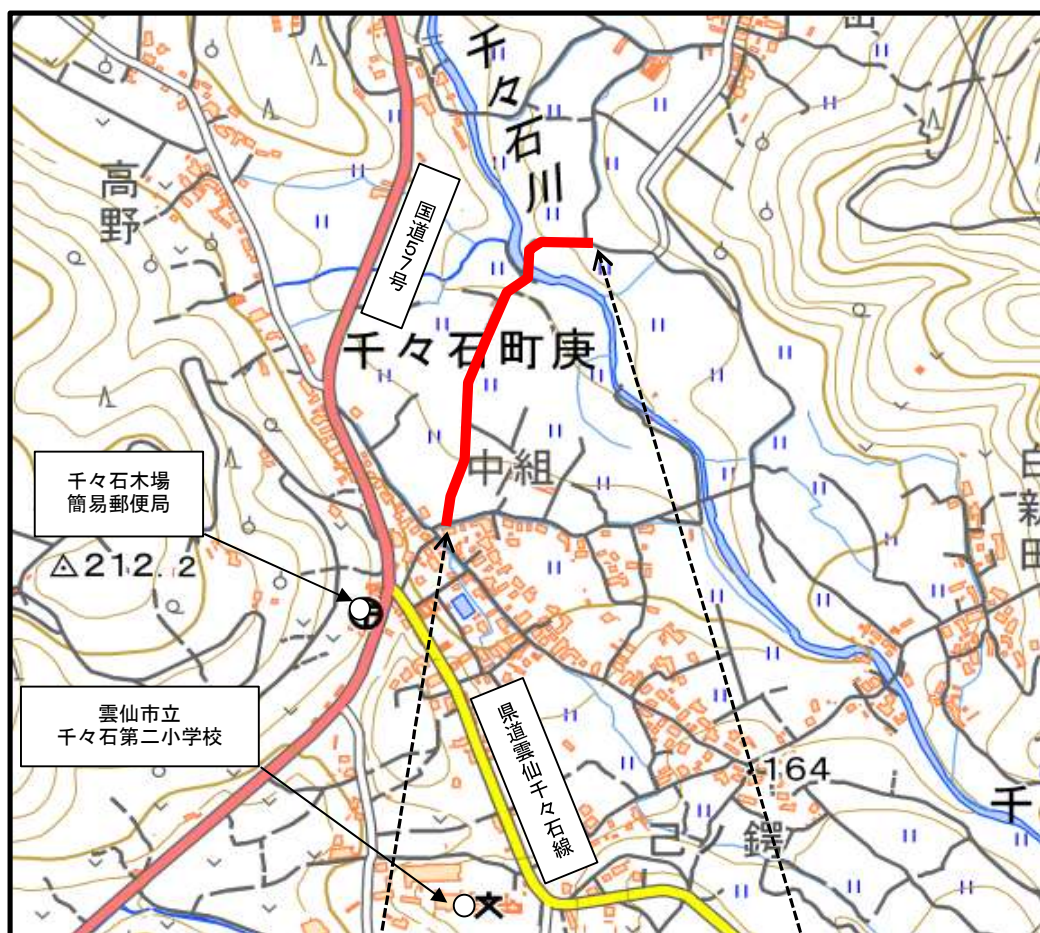


③社会基盤と環境

市道千々石 中原線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 測量を委託して、必要な図面などを作成



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側

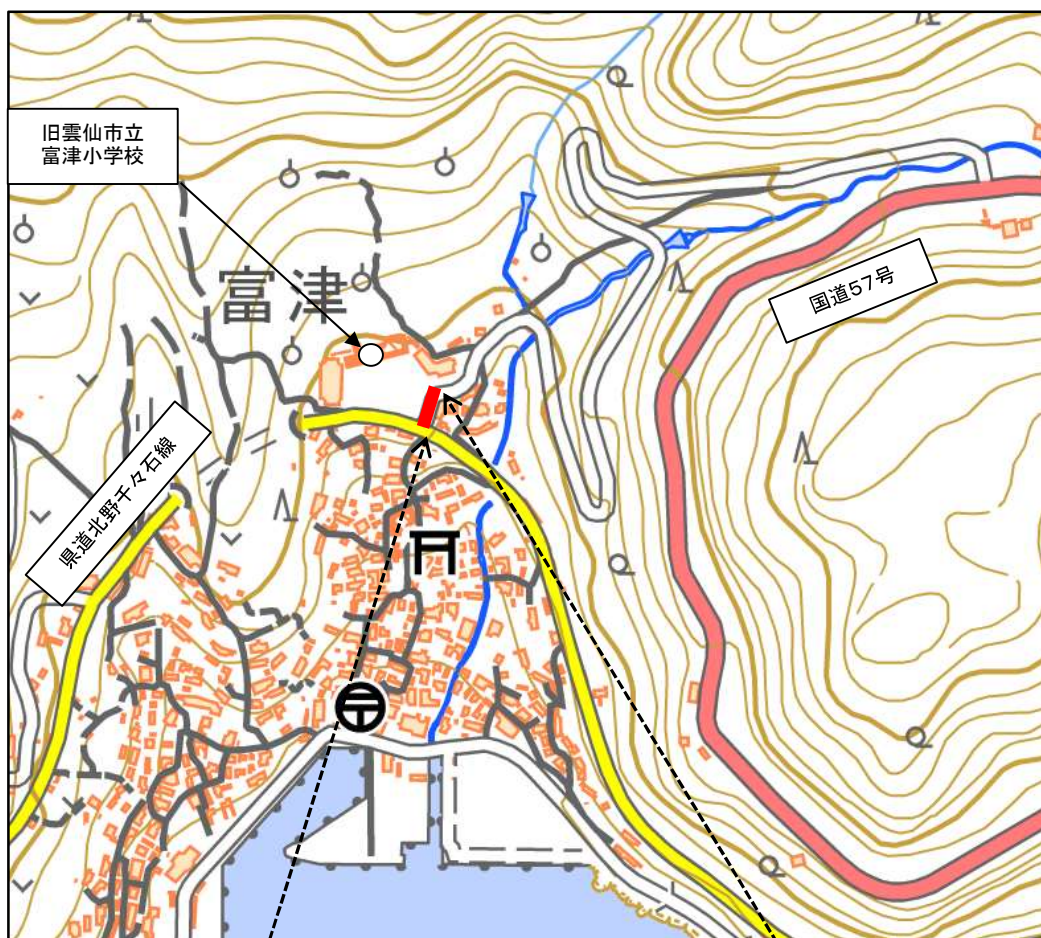


③社会基盤と環境

市道小浜 猿場線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 30m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側



③社会基盤と環境

市道南串山 桧峯線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 100m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側



③社会基盤と環境

小浜 普通河川湯ノ里川改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 河川改修工事 長さ 170m

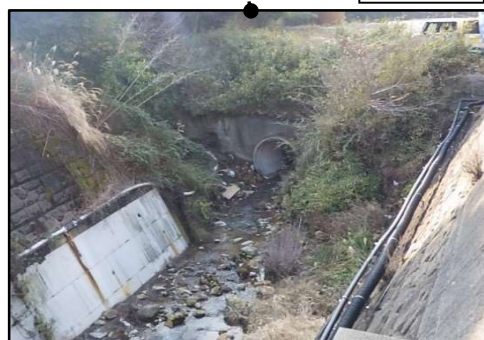


(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側



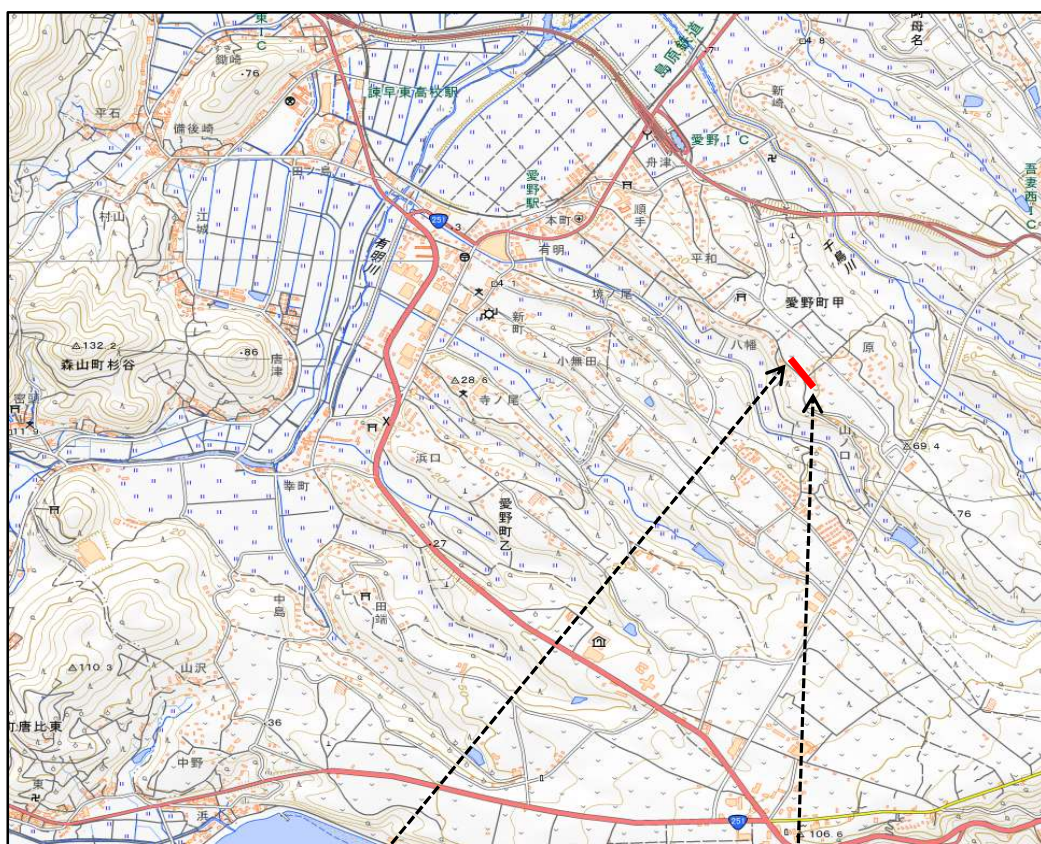
③社会基盤と環境

愛野地区排水対策事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容

- ・排水対策工事 長さ 140m
- ・排水路整備検討業務 一式（愛野地区全域）



(出典：国土地理院 地理院地図)

排水対策工事 起点側



排水対策工事 終点側



④人財と郷土

小・中学校施設整備事業

1億9,423万円

(担当：教育委員会 総務課)

小・中学校における教育環境の向上及び安全安心な施設の整備に向け、
建具や屋上防水等の施設の改修を図ります。

●事業内容

①小・中学校施設大規模改修事業（9件）

- 土黒小学校屋内運動場建具等改修工事
- 愛野小学校放送設備改修工事
- 鶴田小学校渡り廊下改修工事
- 川床小学校運動場フェンス改修工事
- 小浜中学校校舎15棟屋上防水改修工事
- 上記のほか、小・中学校の改修工事設計業務

②小・中学校施設単独整備事業（18件）

- 小・中学校 校舎トイレ洋式便器取替工事
- 愛野中学校掲揚ポール改修工事 など

※上記のほか、児童生徒の危険回避や教育環境改善のための修繕

③小・中学校施設環境改善交付金事業（4件）

- 鶴田小学校トイレ洋式便器取替工事
- 上記のほか、小・中学校のトイレ洋式便器取替工事設計業務



土黒小学校屋内運動場



小浜中学校校舎屋上

④人財と郷土

学校業務支援員配置事業（小・中学校）【新規】

221万円

（担当：教育委員会 学校教育課）

採点の補助や配布物の印刷業務などを行い、教職員をサポートすることにより、教職員が児童生徒への指導や教材研究に注力できる体制を整えます。

●事業内容

- 学習プリントや家庭の配布文書などの各種資料印刷や配布の準備をします。
- 採点業務補助、来客対応や電話対応、学校行事や式典などの準備の補助をします。
- 各種データの入力・集計・掲示物の張替、各種資料の整理等の作業などをします。



④人財と郷土

ふるさと平和学習推進事業（小・中学校）

291万円

（担当：教育委員会 学校教育課）

戦争の記憶が薄れゆく今日、小学6年生及び中学2年生に対して、郷土の戦争遺構や当時の新聞資料などをもとに、専門講師や大学生による講話やグループワークなどによる授業を実施し、平和について考える機会を設けます。

●事業内容

- 市内全小・中学校において、市内の戦争遺構や、当時の新聞記事などの資料をもとにした講話を実施します。
- 中学校において、大学生による平和に関する講話を実施します。
- 児童生徒によるグループワークを実施します。



④人財と郷土

ながさきピース文化祭開催補助金【新規】

935万円

(担当：教育委員会 生涯学習課)

「ながさきピース文化祭2025（第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭）」の分野別交流事業及び、地域文化発信事業の実施に必要な補助を行います。

●事業内容

次の事業を行う「ながさきピース文化祭2025 雲仙市実行委員会」に対し、補助金を交付します。

- ①神代小路伝建地区～くうじの灯りフェスタ～
- ②雲仙ゆかりの画家 特別展
- ③プロジェティスタ城谷耕生～イタリアから
雲仙小浜へ ひとりのデザイナーの軌跡～
- ④コンテンポラリーダンスイベント「EXISTENCE」
- ⑤日本昔話研究の開拓者 関敬吾特別展
- ⑥囲碁の祭典（全国視覚障害者囲碁大会も同時
開催）



⑤協働と戦略

自治集会所等整備費補助金

1,014万円

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

自治会活動の拠点となる自治集会所等の整備支援を行い、地域の相互扶助意識の向上を図るとともに、地域住民の連携強化を図ります。

●事業内容

- ①自治集会所の新築・建替
 - ・補助率 1 / 2 (上限額 1, 000万円)
 - ただし、国県公共的団体から補助を受ける場合は、事業費の 10% (上限額 200万円) を補助
 - ・R7年度予定：なし
- ②自治集会所の修繕等 (事業費 20万円以上)
 - ・補助率 1 / 2 (自治会世帯数に応じ上限額有り)
 - ・R7年度予定：15自治会
- ③自治会掲示板の設置・改修
 - ・補助率 1 / 2 (上限額 10万円/基)
 - ・R7年度予定：2自治会



⑤協働と戦略

記念式典事業【新規】

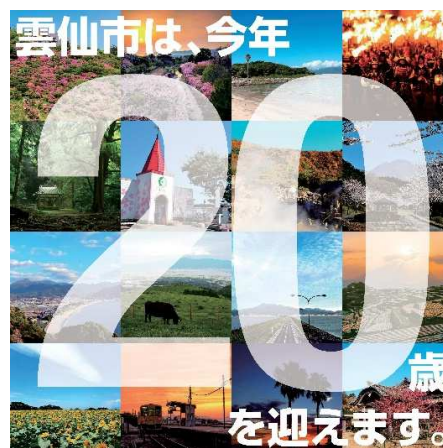
897万円

(担当：総務部 政策企画課・未来創生課)

本年10月に市制施行20年を迎えることから、これまでの20年を振り返るとともに、未来へとつなげる記念日を祝うべく、記念式典を開催します。

●事業内容

- ①市制施行20周年記念式典
市制施行20周年の中心的な公式行事としての記念式典を開催します。
- ②記念誌の発行
20年の歩みなどを中心に記念誌を作成し、市内外へ本市の魅力を発信します。
- ③20周年記念フォーラム
「今後の雲仙市について考える」をテーマにフォーラムを開催します。



⑤協働と戦略

シティプロモーション推進事業

446万円

(担当：総務部 未来創生課)

広報紙やホームページなど市が持っている媒体に加え、民間が持つ多様な媒体を活用して情報発信を行います。本市の知名度と魅力アップを図ることで、市民が「住み続けたい」「いつか戻って来たい」など、雲仙市民で良かったと誇りに思ってもらえるようなプロモーションを展開します。

●事業内容

○PR動画制作

市内外に雲仙市を知ってもらうため、雲仙市の概要をまとめた動画を制作する。

○SNS宣伝広告

InstagramやLINEなどのSNS広告を活用して、ターゲットに合わせたイベント情報などを発信する。



本庁・各総合支所に設置された電子看板

⑤協働と戦略

行政デジタル化推進事業

8,312万円

(担当：総務部 行革推進課)

デジタル技術を活用し市役所業務を効率化することで、職員が住民サービスに向き合う時間を増やし、サービスの向上を図ります。

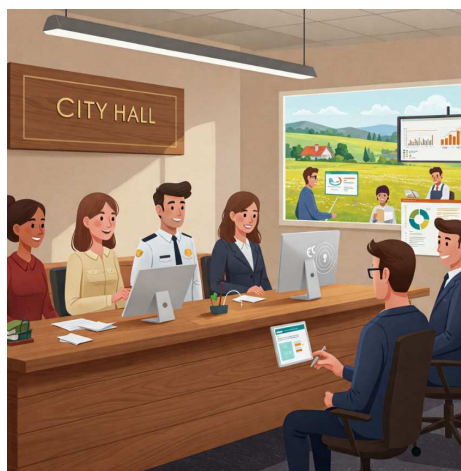
●事業内容

○職員の定型的業務の効率化を図る生成AI

(※)の本格導入

○市のデジタル推進を図るため、デジタル分野への専門的な知識を有する外部人材の活用

(※)生成AI・・・与えられたデータやパターンから新たなデータを生成する能力を持つ技術



⑤協働と戦略

社会保障・税番号制度システム整備事業（住基・戸籍）

1,840万円

（担当：地域振興部 総合窓口課）

戸籍法の一部改正に伴い戸籍に振り仮名を記載しなければならないことから、氏名の振り仮名を記載するために必要となる事務を行います。

●事業内容

（対象者）

市内に本籍を有する方

（事業内容）

- ①戸籍に記載される予定の氏名の振り仮名を葉書に印刷し通知する。
- ②氏名の振り仮名に誤りがある場合は届出を受理し正しい振り仮名を記載。届出については、窓口や郵送、マイナンバーカードによるオンライン申請も可（マイナポータル）
- ③通知に記載された振り仮名に変更がない場合は届出不要、令和8年5月26日以降に通知に記載された振り仮名を戸籍に記載する。



3 ゼロ予算事業

ゼロ予算事業とは、職員の創意工夫によって、既存の人材や施設等をうまく活用し、特段の予算を必要としない事業のことです。
令和7年度は、17事業を予定しています。

①相談窓口（1事業）

②出前講座など（9事業）

③維持管理（3事業）

④その他（4事業）



区分	事業名	事業内容	担当課
相談窓口	遺言・契約等法律相談所開設事業	公証人が、奇数月の第2火曜日に相談所を開設し、遺言・相続・離婚・養育費などの相談に応じます。	地域づくり推進課
出前講座	雲仙市の台所事情出前講座	自治会などからの要請に応じて、財政運営・財政状況の出前講座を行います。	財政課
出前講座	防災出前講座	自治会などからの要請に応じて、自主防災組織の活動支援や防災に関することについて出前講座を行います。	危機管理課
出前講座	租税教室事業	雲仙市内にある小中高校を訪問し、税のしくみや役割などを、ビデオ・クイズなどを交えてわかりやすく説明します。	税務課
出前講座	高齢者福祉出前講座	自治会・団体などを対象とした、高齢者の福祉サービスに関する出前講座を行います。	福祉総務課
出前講座	介護予防出前講座	自治会・団体などを対象とした、介護予防などに関する出前講座を行います。	福祉支援課
出前講座	環境学習出前講座	自治会・学校などの要請に応じて、正しいごみの分別や、リサイクルの推進など、ごみに関する説明会を行います。	環境政策課
出前講座	農業出前講座	農業従事者からの要請等に応じ、農業研修を集落単位で実施することで、地域の農業経営のレベルアップを図ります。	農林課
出前講座	未来の担い手事業	市内の小中学校からの依頼に応じ、職員が赴き、農林水産業にかかる説明や食育活動を職員自らが講師となり、授業や研修を実施します。	農林課 農漁村整備課
出前講座	地域の魅力を再発見！出前講座事業(新規)	市内中学校で地域の魅力を探究する学習のテーマに沿った講師を紹介、派遣します。	地域づくり推進課
維持管理	雲仙グリーンロード点検事業	雲仙グリーンロードの点検、鳥獣死骸処理を行います。	農漁村整備課
維持管理	市道吾妻平木場線道路公園除草事業	市道吾妻平木場線道路公園(干拓堤防道路との交差点部)の除草作業などを行います。	監理課 道路河川課
維持管理	環境美化事業	庁舎周辺の除草作業や空き缶、ごみなどの清掃作業を行います。	各総合支所
その他	時間外窓口交付事業	予約された人に対して、住民票、税証明書などの時間外交付を行います。	総合窓口課 税務課 各総合支所
その他	古着や本の無料配布	ストックハウスにて回収した、状態の良い古着や本などを、「雲仙市産業まつり」会場で無料配布します。	環境政策課
その他	企業メール配信事業	商工業などに関する情報を月1回程度、登録業者へ電子メールによる情報配信を行います。	商工労政課
その他	市内小中高校への選挙器材貸出事業	市内小中高校の生徒会選挙時などに、実際の選挙で使用する器材を貸し出し、投票への意識向上を図ります。	選挙管理委員会

4 資料編

- (1) 雲仙市の通知表（県内13市財政状況比較表）
- (2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費
- (3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道



（１）雲仙市の通知表 （県内13市財政状況比較表（令和5年度決算ベース））

	歳出額		標準財政規模		財政力指数	
	市 名	百万円	市 名	百万円	市 名	指数
1	長崎市	231,022	長崎市	100,530	大村市	0.62
2	佐世保市	131,857	佐世保市	60,543	長崎市	0.57
3	諫早市	72,745	諫早市	34,945	諫早市	0.59
4	大村市	67,685	大村市	22,066	松浦市	0.53
5	南島原市	34,028	南島原市	17,155	佐世保市	0.53
6	五島市	32,701	対馬市	17,007	島原市	0.42
7	対馬市	32,610	五島市	16,554	西海市	0.29
8	雲仙市	32,007	雲仙市	16,374	雲仙市	0.28
9	島原市	25,909	平戸市	13,104	南島原市	0.25
10	平戸市	25,639	杵岐市	12,510	平戸市	0.24
11	杵岐市	24,006	西海市	12,156	五島市	0.24
12	西海市	22,849	島原市	12,121	杵岐市	0.22
13	松浦市	19,008	松浦市	9,255	対馬市	0.20



	経常収支比率		実質公債費比率		将来負担比率		地方債現在高 (対標準財率が高い順)		対標準財	積立金現在高 (対標準財率が高い順)		対標準財
	市 名	%	市 名	%	市 名	%	市 名	百万円	%	市 名	百万円	%
1	西海市	87.8	南島原市	-5.2	雲仙市	-	南島原市	19,772	115.3	大村市	39,437	178.7
2	南島原市	88.1	西海市	0.7	佐世保市	-	雲仙市	21,175	129.3	西海市	17,353	142.7
3	雲仙市	89.4	平戸市	3.3	島原市	-	諫早市	45,748	130.9	雲仙市	21,326	130.2
4	対馬市	90.4	雲仙市	4.3	諫早市	-	西海市	19,229	158.2	平戸市	14,258	108.8
5	平戸市	91.3	島原市	5.5	大村市	-	佐世保市	100,845	166.6	南島原市	17,077	99.5
6	松浦市	92.0	佐世保市	5.5	平戸市	-	大村市	39,487	178.9	五島市	16,191	97.8
7	五島市	93.9	杵岐市	7.6	五島市	-	島原市	22,113	182.4	対馬市	15,650	92.0
8	佐世保市	94.2	諫早市	7.3	西海市	-	松浦市	17,313	187.1	松浦市	8,494	91.8
9	杵岐市	95.1	対馬市	8.8	南島原市	-	平戸市	24,704	188.5	杵岐市	9,932	79.4
10	島原市	95.5	五島市	8.4	長崎市	96.0	杵岐市	23,795	190.2	諫早市	21,911	62.7
11	諫早市	96.5	大村市	8.9	松浦市	31.0	五島市	34,741	209.9	島原市	7,228	59.6
12	長崎市	97.9	長崎市	10.4	対馬市	18.8	対馬市	40,147	236.1	長崎市	41,951	41.7
13	大村市	98.2	松浦市	10.7	杵岐市	18.5	長崎市	263,750	262.4	佐世保市	22,549	37.2

※対標準財とは、標準財政規模に対する比率のことです。

●標準財政規模とは

地方公共団体が通常の状態では毎年定期的に収入が見込まれる一般財源（自由に使えるお金）の総額のことです。

●財政力指数とは

財政力の強弱を示すものであり、一般財源必要額に対して市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを測るもので、指数が高いほど裕福な団体であり、1以上の地方公共団体は普通交付税の不交付団体となります。

●経常収支比率とは

人件費・扶助費・公債費などにより毎年度定期的に支出する経費に、地方税・地方交付税などの経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率で、この指数が小さいほど、財政的に弾力性があるといえます。

●実質公債費比率とは

借入金（市債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す比率で、この比率が高まるほど、財政の弾力性が低下します。

●将来負担比率とは

地方公共団体の一般会計の借入金（市債）や将来支払っていく可能性のある負担などの、現時点における残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

●地方債現在高とは

地方公共団体が借り入れてきた地方債の累積額を表しており、これにより、今どれくらい未返済の借金が残っているかがわかります。

●積立金現在高とは

地方公共団体が将来必要となる財源に充てるため積み立てた資金（基金）の累積額であり、いわゆる貯蓄（貯金）と同じ意味合いで、今どれくらい蓄えがあるかがわかります。

(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした社会保障4経費 その他社会保障施策に要する経費

「社会保障4経費」とは、社会保障制度として確立されている「年金」「医療」「介護」並びに「子ども・子育て支援」のための施策に要する費用のことです。平成26年4月1日から施行された消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴い、増収となった地方消費税交付金については、その用途を明確化し、これらの社会保障経費に充てるものとされています。

令和7年度一般会計当初予算における社会保障経費への充当状況については、下記のとおりです。

(歳入)

地方消費税交付金(社会保障財源化分) 571,285 千円

(歳出)

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 12,600,167 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

事業名	令和7年度 当初予算額	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	地方債	その他	社会保障財源化分の 地方消費税交付金	その他
社会福祉	10,171,216	5,873,700	112,100	221,412	387,222	3,576,782
社会保険	1,396,900	425,546	0	20,827	92,852	857,675
保健衛生	1,032,051	16,591	16,200	65,523	91,211	842,526
合 計	12,600,167	6,315,837	128,300	307,762	571,285	5,276,983

●『社会福祉事業』とは

生計の困難な方や心身に障害のある方に対する援助など、国民の生存権を確保することによって、国民生活の内容を豊かにする事業を意味します。

【具体例】生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉など

●『社会保険事業』とは

法令に基づき実施される国民健康保険、年金などの制度に関する事業を意味します。

【具体例】国民健康保険、介護保険、年金など

●『保健衛生事業』とは

国民の健康を保つための事業を意味します。

【具体例】医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など

(3) 令和7年度当初予算における「ふるさと納税寄附金」の使い道

「ふるさと納税」とは、生まれ育ったふるさとや好きな自治体を、寄附を通じて応援できる制度です。寄附をすることで所得税・住民税の控除を受けられるほか、自治体のまちづくりを支援することができます。

本市では、ふるさと納税による寄附金の使い道について、雲仙市総合計画の基本方針に基づく下記のメニューを設定し、寄附の際にその使い道を選んでいただくことで、寄附者の皆さまの意向に沿ったまちづくりを行っています。

令和6年1月～12月にかけて、全国各地から8億1,141万9千円（43,210件）もの寄附金をいただきました。この寄附金は「雲仙市ふるさと応援基金」に積み立て、令和7年度において下記の事業の財源として活用させていただきます（最終的な活用実績は、年度終了後に市のホームページにて公開します）。

【令和7年度雲仙市当初予算 ふるさと納税寄附金活用予定事業】

基本方針		寄附額	活用予定事業
①	暮らしと安心 安心して子どもを産み育てる まちづくりと健康で安全な暮らしづくり	4億2,105万8千円	・定住促進対策事業（担当課：地域づくり推進課） ・結婚応援事業（担当課：〃） ・予防接種事業（子ども支援課）（担当課：子ども支援課） ・妊婦乳幼児健診事業（担当課：〃） ・保育園等副食費助成事業（担当課：〃） ・福祉医療費支給事業（担当課：〃） ・民間保育所障害児保育事業（担当課：〃） ・民間教育・保育施設給付事業（担当課：〃） ・健康診査事業（担当課：健康づくり課） ・予防接種事業（健康づくり課）（担当課：〃）
②	産業と交流 雇用を生み出す産業づくりと 人を呼び込む観光地域づくり	8,893万7千円	・認定農業者活動支援事業（担当課：農林課） ・農地保全事業（担当課：農漁村整備課） ・雲仙観光局補助金（担当課：観光物産課） ・商工業活性化推進事業（担当課：商工労政課）
③	社会基盤と環境 社会基盤の整備と自然環境と 調和したまちづくり	4,893万8千円	・道路河川公共土木事業（担当課：道路河川課） ・不法投棄対策事業（担当課：環境政策課）
④	人財と郷土 将来を担う人財づくりと歴史 と文化が輝く郷土づくり	3,403万1千円	・スクールサポーター配置事業（小学校）（担当課：学校教育課） ・スクールサポーター配置事業（中学校）（担当課：〃） ・読書活動振興事業（担当課：生涯学習課）
⑤	協働と戦略 市民一人ひとりが主役の協働 のまちづくりと効率的で戦略 性をもった行財政運営	708万7千円	・自治集会所等整備費補助金（担当課：地域づくり推進課） ・住民自治推進事業（担当課：地域づくり推進課）
⑥	その他（※）	2億1,136万8千円	・子どもの遊び場整備事業（担当課：政策企画課） ・光り輝く雲仙力アップ事業（担当課：農林課） ・観光地活性化事業（担当課：観光物産課） ・雲仙市産業まつり等開催事業（担当課：〃） ・商工振興費補助金（担当課：商工労政課） ・外国人雇用対策事業（担当課：〃） ・道路橋りょう維持管理費（担当課：道路河川課） ・学校給食費補助事業（小学校）（担当課：学校教育課） ・学校給食費補助事業（中学校）（担当課：〃）

※⑥「その他」に寄附をいただいた分については、①～⑤の事業の中から市長がどの事業に活用するかを決定しています。

令和6年寄附額 合計	8億1,141万9千円	寄附件数：43,210件
------------	-------------	--------------

寄附をいただいた皆さまの雲仙市への温かいご支援に心からお礼申し上げます。